

第2回次期総合振興計画（区の将来像）に係る岩槻区検討懇話会 議事要旨

開催日時：2019年1月21日（月）14:00～15:30

開催会場：さいたま市岩槻区役所 4階第1会議室

出席者（懇話会委員）：

岩槻観光委員会	小宮 康一郎 氏
岩槻区スポーツ振興会	海野 あきゑ 氏
岩槻人形協同組合	新井 久夫 氏
公益社団法人埼玉中央青年会議所	森田 裕 氏
さいたま市岩槻区自治会連合会	三次 宣夫 氏（座長）
さいたま市岩槻美術家協会	友弘 富美江 氏
さいたま市交通安全保護者会（母の会）岩槻支部	清水 一美 氏
さいたま市シニアユニバーシティ岩槻校校友会協議会	宮澤 孝雄 氏
さいたま商工会議所岩槻支部	長野 晋睦 氏（職務代理）
さいたま市PTA協議会岩槻区連合会	岡野 育広 氏
社会福祉法人さいたま市社会福祉協議会岩槻区事務所	時田 実 氏
青少年育成さいたま市民会議岩槻区連絡会	高橋 紀世 氏
南彩農協いわつき農業団体連合会	飯山 正樹 氏

（事務局：さいたま市）：

岩槻区役所：宮寺区長／沼尻副区長／佐藤区民生活部長／横川参事兼総務課長
都市経営戦略部：篠葉参与

欠席者（懇話会委員）：

岩槻商店会連合会	田中 泰治 氏
岩槻蓮田地区更生保護女性会	田口 ゆり子 氏
さいたま市岩槻区民生児童委員協議会	木所 テル子 氏

議題及び公開又は非公開：（議題）岩槻区の将来像改定素案のたたき台について
（公開又は非公開の別）公開

傍聴者の数：0人

審議した内容：さいたま市次期総合振興計画の策定に向けた検討に伴う岩槻区の将来像について

問合せ先：岩槻区役所 区民生活部 総務課 電話番号 048-790-0115

1 開会

2 出席者紹介

初参加の小宮委員より自己紹介があった

3 意見交換

岩槻区の将来像改定素案たたき台について

各委員より、上記議題について、次のとおり意見及び感想を述べた。

・このような会議でよいたたき台ができて、実現に向けた進行管理が必要で、皆でチェックできる仕組みができるとよい。

市

・基本計画、基本構想を踏まえた後に実施計画の策定となるが、公開というプロセスを踏んで進めていくこととなる。

・様々な意見は区として持ち帰り、本庁へ繋げていく。岩槻区では今まで区民会議で意見交換しており、今後はタウンカフェという形で発展させていく予定。

・市民ワークショップとは何か。

市

・次期総合振興計画について議論するために公募・無作為で区ごとに 10 名程度を募った。区ごとに強み、弱み、今後についてを議論し、ホワイトボードなどで意見集約したもの。

・美術家協会の代表をしているが、ポイント 2 (3) の文化・芸術が「促進」から「支援」になったのは有難い。昨年第 3 回岩槻区民展を実施したが、補助金に助けられた。

・ポイント 2 の(4)と(5)は素晴らしい。(4)の歴史(城)や伝統文化(人形)は動きが続くと思うが(5)の野菜は最近有名になってきている岩槻のヨーロッパ野菜の動きが続くようにしてほしい。

・ポイント 2 の(4)の歴史・文化で人形博物館があるが、市民は展示物の経緯を知らない。西沢笛畝さんが集めた人形を人形組合が購入し市に寄贈したもの。こうした経緯を周知すべき。

・人形を主体としてアピールして、かつ、農業も取り入れて頂きたい。岩槻区は広いので、

人形を中心として子ども達が来やすい、集まりやすい場所をつくってほしい。地下鉄7号線は開通するものと想定しているが、子ども達が楽しいと思えるものを増やしてほしい。

・岩槻の魅力は豊かな自然だ。自分は春日部出身だが、子どもの頃から岩槻がよいと思っていた。岩槻のよいところをPRしてほしい。

・資料はよくまとまっている。青少年育成の立場から小学生を対象とした活動を続けていく。高齢者にとってはコミュニティバスが重要。高齢者が仲間意識を持ちながら楽しく過ごせるようにしてほしい。

・人形博物館ににぎわい交流館があるが、岩槻のJAに農産物を扱ってもらえないか。また、家の近くにサイクリングロードがあるが、自転車が行き来しているのに、来訪者を増やすことに繋がらないか。

・にぎわい交流館はよい話で、各地の事例を参考に持続的に活性化してほしい。

・こうした会議では各委員が団体を代表して意見を述べることが多いが、全体として議論して、各分野で各団体を活用するという形の議論もある。

・資料はよくできている。人形博物館は商売というより人形の歴史や文化を活用してまちを活性化すること。人形関係者として責任を感じている。

・愛宕神社に人形を飾る活動をしている。岩槻を雛の街という形で打ち出している。古い人形もある。

・資料はよくまとまっている。住む人、訪れる人に対して岩槻区がよい街と思ってもらえることが重要。商売する人が岩槻でやってみたいと思うことが重要。市外、区外の人に商店街の空き店舗を開放することも一案。

・人形博物館は購入した人形を展示することが意義のひとつだが、日本人形のみならず、世界の人形にしないと飽きられる。東京も含め博物館は多い。農産物の販売については、農業団体にイベント等の協力をしてほしい。ポイント2の(4)について、要望がある。道の駅というのがあるが街の駅という形で観光ネットワークの形成としてもらえないか。盆栽博物館、人形博物館に、市外の川越や行田の忍城を繋げることが考えられる。「ネットワークづくり」という言葉が重要だ。

市

・区役所跡地に人形博物館、にぎわい交流館を整備し、観光の拠点化を進めている。ヨーロッパ野菜が注目されているが、直販については街中で頻繁に行うのは厳しいので朝市が考えられる。地域格差については南部は区外との結びつきが強い。交通が課題だ。高齢者の交通は高齢者タクシーが試行されている。今後有償か無償かが論点になる。区民会議は身近なまちづくりのための意見交換でタウンカフェとして発展していく。空き店舗のリノベーションについては、草加を参考にしている。

・買物については、近隣の商店が減少して困っている。

市

・空き店舗化については、様々な取組を検討しており、沿道の理解を得ながら進めたい。

・新聞に美園の校舎の工事で建設会社が倒産とあったが。

市

・倒産により工期が7月まで伸びた。仮校舎等の対応することとなる。

4 閉会